

令和4年度委員会評価報告

資料1
西 東 京 市
男女平等参画推進委員会
令和5年7月25日
(Aグループ)

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-1	男女の固定的性別役割分担意識の解消 (★重点課題)
施策 (1)	男女平等参画推進のための意識啓発と情報提供
事業	①情報誌パリティの発行と配布
	②情報の提供
	③パリティまつりの開催

施策全体についての評価

市民参画によるパリティの発行、パリティまつりの開催において、様々な工夫がされている。男女の固定的性別役割分担意識の解消に向けて、若い世代、男性への関心が広がるよう、担当課が連携して施策を推進していきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	B	B	B	B	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③	市民参画により、市民の身近な課題をテーマとしたパリティの発行、パリティまつりの開催を高く評価する。パリティの配布先として、中学校だけでなく保育園を追加し、読んで欲しい方へ届ける工夫もされている。より多くの市民が読めるようHP掲載の周知等の検討を期待する。オンラインを活用して開催したパリティまつりは、幅広い世代へに向けた多彩な内容で、HPにも工夫がされている。新しい参加層の開拓に繋がったことを評価する。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
B	B	B	A				
秘書広報課	②	男女平等意識に留意した情報提供の取り組みに加え、男女平等参画推進に向けた情報提供についても検討いただきたい。昨年度も要望したが、男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間などに、広報、市ホームページで男女平等参画推進に関する記事を大きく掲載するなど男女平等参画推進に向けたさらなる情報提供に努めていただきたい。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			A	B	B	B	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
B	B	B	B				
公民館	②	公民館は、市民の活動や講座の開催等で多様な方が訪れ場だと思うので、引き続き、男女平等意識や男女平等参画に関する情報提供に尽力いただきたい。	総合評価				
			A	B	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	B	A	A	
課題把握							
B	A	A	A				
図書館	②	男女共同参画週間にあわせ、毎年市内図書館一館で継続した関連書籍展示が行われていることを評価する。昨年度要望した展示に合わせた相談先のカードの配架等、パリティとの連携の進捗を知りたい。	総合評価				
			B	A	A		
			計画内容				
			B	B	B		
			執行状況				
			B	A	A		
課題把握							
C	B	B					

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-1	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（2）	男女平等に関する学習機会の提供
事業	①男女平等参画の視点にたった各種講座の開催
	②資料の収集と図書の貸し出し

施策全体についての評価

公民館での課題解決に向けた講座の開催を評価します。 講座や事業への参加を通じて、男女平等参画に関する問題を自分ごととして捉え、理解し、自ら解決する力をつけながら、受講者同士が繋がれる支援、仕組みを検討いただきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	B	B	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニテイ課	①②	企画運営委員会の企画による講座、DV被害者支援のための自立支援講座、パリテまつりを通じて、多彩な男女平等に関する学習機会が提供されている。 昨年度も要望したが、執行状況だけではなく、事業評価の記述を要望する。 図書の貸出数が減っているため、パリテの周知と合わせ蔵書内容についてのPR方法の検討を期待する。	総合評価				
			A	B	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	B	A	A	
課題把握							
A	B	B	B				
子ども家庭支援センター	①	父親支援事業を含め行事の開催が、3年間で中止であったにも関わらず、のどか広場、ピッコロ広場の来場者が増えていることを評価します。来場者の増加の理由についても記載いただきたい。 また、父親支援事業再開にあたって、男女平等参画の視点に立った事業展開を期待する。	総合評価				
			A	A	B	B	
			計画内容				
			A	B	A	A	
			執行状況				
			A	A	B	B	
課題把握							
B	B	B	B				
公民館	①	育児期の女性を主たる対象とした保育付き講座を4講座実施し、女性が一個の人格ある存在として、自分を見つめ直し、他者との関係を育む機会となったことを評価します。また、女性の視点から世界の様々な課題を考える講座開催、孤立しがちな高齢者が外出する機会となるよう、気軽に参加できる映画会や地域交流事業等の実施等、地域の課題を把握した事業の継続を期待する。	総合評価				
			A	A	B	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	B	A	
課題把握							
B	B	B	A				
図書館	②	「市民が男女平等参画について学び、情報を入手できるように」、どのような「資料収集および提供を行った。」のか記載をお願いします。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			B	B	B	B	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
C	B	B	B				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-1	男女の固定的性別役割分担意識の解消（★重点課題）
施策（3）	メディア・リテラシーの普及・啓発の推進
事業	①情報誌パリティや講座等によるメディア・リテラシーの普及・啓発の推進
	②市発行物等の表現における男女平等ガイドラインの周知徹底

施策全体についての評価

秘書広報課では情報発信の際に男女平等ガイドラインが継続して活用されており、メディア・リテラシーの普及に大きく寄与している。ただ、全庁的な広がりを目指す協働コミュニティ課は他市の事例などから具体的な方法を模索しており、今後の展開を期待したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	前年度から継続して各市の計画や資料を収集し、メディアリテラシーに関する蔵書の充実を図り、閲覧や貸し出しの環境整備に努められたことを評価したい。活用の広がりや苦慮されているようだが、具体的な改善策の検討が進むことを期待する。また、市報や市の発行物において男女平等の視点が徹底できるようガイドライン事例集の整備や周知に努力されたことを評価したい。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			B	A	A	A	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
B	A	A	A				
秘書広報課	②	市報やホームページ等広報に関わる男女平等の視点の徹底は、読み手に与える影響が大きく、日々の実践の積み重ねが必要である。協働コミュニティ課作成の「ガイドライン事例集」を活用し、市報とホームページによる情報発信に注力されたことを評価したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(1)	男女平等参画推進のための教育・学習の実施
事業	①男女平等の視点にたった名簿等の活用
	②固定的な性別役割にとられないキャリア教育の実施
	③学校等における男女平等教育の実施
	④保育園や児童館、図書館などにおいて、男女平等の視点をもった関係図書の紹介等

施策全体についての評価

男女平等参画推進のための教育・学習の実施という視点で、各課が毎年工夫をした取り組みをされていることを評価したい。子どもたちに大きな影響を与える家庭内での取り組みに対して課題意識がありながら具体的な働きかけができていないことが残念である。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①②③	男女混合名簿の整備が完了し、保健体育の男女共修が進んでいること、実施に向けて学校訪問での助言など積極的な活動を評価したい。キャリア教育やLGBTQなどの人権教育に関して、研究奨励校での研究促進や人権教育推進委員会での研修も評価したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
協働コミュニティ課	③④	情報誌「パリテ」の全中学校配布に加えて、保育園や幼稚園へ配布を広げたことを評価する。中学生の興味関心を引き出すよう記事内容の選択や表現に工夫されたことも評価したい。また、おすすめ本を掲載した「パリテライブラリーニュース」や相談員による図書紹介など、各種資料を駆使した啓発活動を継続されていることも評価したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
幼児教育・保育課	④	基幹型保育園での親子への読み聞かせや図書の紹介、各園では園児への読み聞かせの際に、意識啓発を意識した図書の選択が継続的に行われていることを評価したい。ただ、多様な私立保育園等での取り組みに疑問が残る。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
児童青少年課	④	児童館において、ライブラリーニュースを活用した図書の紹介等啓発活動が行なわれたことは評価したい。どのように児童図書を紹介されたのか具体的な取り組みについての記述があれば課題が明確になると思われる。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
図書館	④	「すいせん図書」に関係図書を選定・掲載し、市内の小・中学生全てに配布されたことを評価する。LGBTQを含めた人権意識の高まりで、男女平等の視点での児童書が減少し、広義の平等を扱う書籍になっているという認識があるようだが、多様性への理解が男女平等につながるの、内容を吟味した書籍紹介に期待したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策(2)	多様な性・多様な生き方を認める人権尊重の意識づくり
事業	①学校における人権教育の実施
	②多様な性や生き方に関する理解の促進
	③情報誌パリティの発行と配布(再掲)
	④国際交流等行事の実施

施策全体についての評価

学校内の取り組みに関しては、研究奨励校があること以外は具体的な状況が見えない部分もあるが、様々な場面で人権の視点から男女や多様性の尊重に関して、教育や啓発活動が行われていることを評価する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育指導課	①	継続して、各学校における人権教育の全体計画や年間指導計画のさらなる改善や人権教育の一層の充実のために、尽力されている様子が伺えるが進行状況がよく見えない。今後、人権教育の研究奨励校での取り組みが各種計画に活かされることとその記述を期待したい。	総合評価				
			A	B	B	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	B	B	A	
課題把握							
A	A	A	A				
協働コミュニティ課	②③	職員や関係者向けに、性的マイノリティの講座を開催され一定数の参加を得たことを評価するとともに、継続を期待したい。情報誌パリティはテーマや編集方法、配布先等様々な工夫がなされており、事業の深化と広がり进行评估する。一般市民の認知度を高める工夫に腐心されているので、今後を期待したい。予算的に可能であれば、一度全戸配布を試みることも選択肢としてあるかもしれない。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
文化振興課	④	多様性を持つ外国籍市民への支援及び支援ボランティアの拠点としての多文化共生センターの取組が詳細な記述でよくわかった。センターの認知度を上げるための取組も評価できる。ただ「事業④国際交流等行事の実施」に対して、支援が中心で交流事業の実施がないことが気になった。一般市民の認知度を上げるには、支援事業だけではなく多様な人々と交流できる事業を多文化共生センターで実施する必要があるのではないかと。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-2	家庭・学校・地域における男女平等教育と学習の推進
施策 (3)	保護者・保育士・教員・地域団体等の男女平等意識の啓発
事業	①男女平等の視点にたった子育て情報誌の作成・配布
	②保育士等職員を対象とした男女平等意識の啓発
	③男女平等教育を推進するための教員の研修の実施
	④民生委員・児童委員や地域の団体等への啓発

施策全体についての評価

各課において目標達成がなされている。前年度と比較して進捗具合がわかるような執行状況の記載に努められること、新たな課題を見つけ目標が設定されることに期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	B	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
子育て支援課	①	子育てハンドブックの編集や配布は毎年目標達成がなされている。本事業の継続に加え新たな目標設定が必要である。「応援アプリいこいこ」は良いコンテンツではあるが、多くの夫婦間で共有され男性が女性の妊娠期から子育てに主体的に関われるようダウンロードの促進にも注力されたい。	総合評価				
			B	B	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	B	
			執行状況				
			B	B	A	A	
課題把握							
B	B	B	B				
幼児教育・保育課	②	性別や世代に関わらず全ての職員が時代に即した子どもへの関わりができるよう研修内容の充実や業務への反映は欠かせない。引き続き現場の声に耳を傾け事業に取り組みられることに加え次年度は執行状況や課題の欄に進展が見られることに期待する。	総合評価				
			B	B	A	A	
			計画内容				
			B	B	A	A	
			執行状況				
			B	B	A	A	
課題把握							
B	B	B	B				
児童青少年課	②	学童指導員の子どもたちへの影響力は強い。常にフラットな関わりが保てるよう引き続き研修内容の充実や業務への反映に努められたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	B	B				
教育指導課	③	性的マイノリティや更には自分と違う他者の存在を認め合える社会実現の為に、子どもたちには様々なロールモデルが提示されるべきである。少数派・多数派に関わらず生きやすい世の中に近づく為に新たな世代の育成は欠かせない。教員自身に正しい人権意識が育まれ、子どもたちの視野が広がるような関わり方に期待する。執行状況に現場の声や進捗具合がわかるような記載があれば尚良い。	総合評価				
			A	B	A	A	
			計画内容				
			B	B	A	A	
			執行状況				
			A	B	A	A	
課題把握							
B	B	B	B				

地域共生課	④	引き続き必要なタイミングに応じて研修の機会が与えられ地域のリーダーの育成に努められたい。より具体的な執行状況の記載や課題把握に期待する。	総合評価			
			A	A	A	A
			計画内容			
			A	A	A	A
			課題把握			
協働コミュニティ課	④	該当年度において講座開催がなされたことを評価する。パリエ配布のみに留まらず本事業に進捗が見られた。引き続き講座が開催され、より多くの参加者確保にも努められたい。	総合評価			
			A	B	A	A
			計画内容			
			A	A	A	A
			課題把握			
B				B	B	B

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（1）	暴力の未然防止と早期発見
事業	①講演会やパンフレット等による啓発
	②デートDV防止の啓発
	③早期発見に向けた市民、職務関係者との連携

施策全体についての評価

<p>市民意識調査からも見てとれるように、水面下に潜むDV問題の件数は少なくない。被害を受けていることに気づける環境、相談窓口のハードルは低く且つきちんと周知されていること、加害者の芽を詰めるよう市民にDVにおける正確な認識や情報提供がなされていることが望ましい。情報が取捨選択されやすいことから、情報多量な現代であるにも関わらず必要な情報が行き届かないことがある。芸能人の自殺報道の際には必ず電話相談窓口の案内が流れる。このことから電話相談窓口は多くの世代に周知されている。DV相談窓口も同じように周知される為にも動画広告の活用や人々の関心が高い関連項目に付随させるなどの工夫が望まれる。</p>	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニケーション課	①②③	講座開催やパンフレットの配布を評価する。関係機関との連携構築により被害者支援がシームレスに行われること、市民に広くDVの認識が浸透しDVの発生防止や早期発見に繋がるようきっかけや体制づくりに尽力されたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（2）	相談窓口の充実
事業	①相談窓口の周知と情報の提供
	②女性相談の実施
	③一人ひとりの状況に応じた相談の実施
	④男性相談のあり方の検討

施策全体についての評価

<p>今年度の市民意識調査の配偶者からの暴力を受けた際の相談機関の認知度を前回（平成30年）と比較する第一は警察だが二番目の西東京市の相談が5.1%あがっている。調査結果からもわかるように被害者自身、相談することへのハードルが高いことが見受けられた。DV被害者の早期発見は、相談窓口の敷居が低いこと。利用しやすいこと。そのため、あらゆる担当部署がDVの被害者への配慮を強めていることは評価できる。</p>	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	B	B	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②③④	女性に関する様々な相談窓口を総合的に纏めたパンフレットの作製、配布はより市民ニーズを把握したうえで相談窓口の周知を広げたことは評価に値する。特にDVの相談はどんな相談からもつなげていくことが重要であり、より相談しやすい体制を作り上げていくことを期待したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	B	A	
			執行状況				
A	A	A	A				
課題把握							
B	A	A	A				
生活福祉課	③	ひとりひとりの相談ニーズを把握し、きめ細かいアウトリーチをしていることは評価に値する。また窓口としての様々な相談の受け入れ先として機能し、そこから必要な相談窓口にリファーしていることは相談受け皿として評価し、今後もその体制の継続を望む。	総合評価				
			A	A	A	B	
			計画内容				
			A	A	B	A	
			執行状況				
A	A	A	B				
課題把握							
B	B	B	B				
子育て支援課	③	より具体的な相談場所としての役割を果たしていることを評価したい。その一方で相談件数が減少傾向にあるのはその役割が浸透していない面もあるのではないだろうか。庁内体制として総合相談体制の中での位置づけ、役割の検証をしていくことを期待したい。	総合評価				
			A	A	B	B	
			計画内容				
			B	A	B	B	
			執行状況				
A	A	B	B				
課題把握							
B	A	B	B				
子ども家庭支援センター	③	昨年度もコロナ禍にあり、家庭内での困りごと、問題は浮上してきていた。その窓口での役割を担い、様々な家庭内のトラブルの窓口として機能を果たしていることは評価に値する。特に子どもの虐待と育児に悩む親から相談がDVの相談とつながり連携ができてきている点は、今後も継続し、充実していくことを期待する。DV虐待の早期発見窓口と役割は大きい。	総合評価				
			A	A	B	B	
			計画内容				
			A	A	B	A	
			執行状況				
A	A	B	A				
課題把握							
B	B	B	A				
健康課	③	外国籍の人への対応も含めてきめ細かい対応に対して評価に値する。発達支援係においては検査だけではなくその後のフォローグループ事業を展開したことはその家族の理解を深めると同時に相談しやすい場所になっており評価に値する。親たちへの悩みの解決として他機関との連携しながらとの相談体制は今後も益々充実していくことを期待する。	総合評価				
			A	A	B	B	
			計画内容				
			A	A	B	B	
			執行状況				
A	A	B	B				
課題把握							
B	B	B	B				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（3）	被害者の安全の確保と自立への支援
事業	①緊急一時保護の実施
	②民間支援団体との連携
	③一人ひとりの状況に応じた関係部署間の連携による支援と情報の提供
	④被害者への自立支援の実施

施策全体についての評価

<p>来年度から施行されるDV法の改正、そして新たな女性支援新法とその役割は一層の充実が求められている。今までの被害者の一時保護や安全性の確保だけでなく、被害者のニーズに則したよりきめ細かな対応が求められている。今年度は担当課による連携がより具体的になっており評価できる。それと同時にもう少し具体的な数値などを事業評価に記載していただける評価しやすく見える化しやすい。今後庁内の更なる連携体制に期待する。</p>	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A		

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニケーション課	①②③④	DV被害者支援の総合相談窓口の機能と体制づくりの拠点としての役割を果たしていることを評価したい。しかしながら今回の市民意識調査、職員意識調査を結果からDVに関しては、DV防止法について知らない人が約半数おり、女性相談の認知度が低い結果になっており、今後も受け皿としての周知度合いをあげていくことを期待したい。	総合評価				
			A	A	A		
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
			B	A	B	A	
健康課	③	相談者のニーズに合わせ、他機関パリティの女性相談、子育て支援センターなど適切な機関との連携により、その役割をになっていることは、評価に値する。しかしながらDVの被害者の心のケアに関しては、見守りと継続性が必要であり、今後もその役割を担う存在として何が出来るかを具体的な検討を期待したい。	総合評価				
			A	A	B		
			計画内容				
			A	A	B	B	
			執行状況				
			A	A	B	B	
課題把握							
			A	B	B	B	
生活福祉課	③	DV被害者支援の基盤となる生活支援においては、パリティの女性相談との連携が不可欠である。DV被害者が自立を目指すには、まず直面するのが経済的な基盤、それが難しいためにDV被害から抜け出せない現実がある。安心して生活していける後押しになるよう今後も期待したい。また、その役割を明確にするために、相談機能の更なる充実を期待する。	総合評価				
			A	A	A		
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
			A	A	A	B	
子育て支援課	③	DV家庭のサポート体制として子どもへの配慮という観点からその役割の大きさを感じている。子どもへの虐待とDVとは表裏一体の関係にあり、子どもへの支援は親への支援につながる。一人での養育が難しい親を見送らず、親子が安心して暮らせる母子生活支援施設などの入所の可能性への配慮は今後も大いに期待したい。令和4年度、つなげた事例なども明記されるとありがたい。	総合評価				
			A	A	A		
			計画内容				
			A	A	B	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
			A	A	B	B	

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援 (★重点課題)
施策 (4)	市の体制整備に向けた取り組みの強化
事業	①職員研修の実施
	②相談員の資質向上とメンタルケア

施策全体についての評価

相談窓口の充実のためDV研修、相談員の資質公共のための研修や、スーパーバイズの取り組みについて評価したい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	庁内相談窓口職員に対して研修、啓発等知識の向上に努めていただきたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-3	配偶者等からの暴力の防止と被害者支援（★重点課題）
施策（5）	関係機関との連携強化
事業	①庁内関係各課との連携の強化
	②各種関連機関・専門家との連携の強化
	③配偶者暴力相談支援センター機能の検討

施策全体についての評価

配偶者暴力担当者支援会議の中で、事例検討、相談体制、危機管理、女性支援等各課連携を図られていることで評価する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニケーション課	①②③	庁内関係機関の連携を専門家との連携を図りながら、情報を共有する体制について評価したい。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			B	B	B	B	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
B	B	B	B				
関係各課 (下記の各課)	②	庁内連携会議において、各課それぞれの連携を図られていることを評価したい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				

(市民課・保険年金課・健康課・生活福祉課・高齢者支援課・障害福祉課・子育て支援課・
幼児教育・保育課・子ども家庭支援センター・学務課)

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（1）	暴力の防止に向けた意識啓発
事業	①暴力防止に関する情報提供と学習機会の提供
	②市内事業所への意識啓発
	③暴力の防止に関する市職員・教員への啓発・研修

施策全体についての評価

それが暴力であるとの認識のないままに、被害者や加害者になっているケースが散見される。現在は暴力と認定される行為の中には、以前は社会的に許容されていたという行為もあるので、高齢の世代への啓発活動は極めて重要である。あらゆる暴力を防止し、誰もが安全・安心な社会生活を営めるよう、啓発活動のさらなる強化を期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	B	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニケーション課	①②③	継続してパンフレットの配布やHP等で啓発を図っている点は評価できるが、今年度は講座等が実施されず、暴力防止に関する学習機会が提供されなかったことは残念である。また、一昨年より課題となっている全職員への研修が今年度も実施できなかったようであるが、実施に向けての取り組みを具体的に進める必要があると考える。啓発活動は地道に行つてこそ結果が出るものなので、必要な活動は継続して行つていただきたい。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
A	A	A	D				
職員課	③	継続して研修が実施されていることを評価する。具体的な事例を取り上げる等、より実践的な研修となるよう計画されているが、どのような成果があったのかが不明である。非常に意欲的な取り組みであるので、ぜひ継続されたい。今年度は特別職（市長・副市長・教育長・各部長）に対しての研修が行われていないが、暴力防止に向けた意識啓発は組織全体として共通認識をもつことが重要であるので、継続して実施されることが望まれる。	総合評価				
			A	A	B	B	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	B	B	
課題把握							
A	A	A	A				
教育指導課	③	継続的かつ計画的に研修が実施されていることを評価する。様々な個別事案に対応する必要がある教育現場で、研修の内容がどのような成果となって表れているか等を検証しつつ、より効果的な研修となるよう工夫を重ねていただきたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	B	A	B				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-4	男女平等を阻む暴力の防止（セクシュアル・ハラスメント、ストーカー、性暴力等）
施策（2）	暴力の被害者に対する支援
事業	①相談の実施
	②女性相談の実施(再掲)
	③緊急一時保護の実施(再掲)

施策全体についての評価

寄せられた相談について丁寧かつ適切に対応しており、大いに評価できる。相談して初めて、それが暴力であったと理解するケースもあり、相談が問題解決の糸口、さらには問題の深刻化の防止につながっていることもある。相談するほどのことではないと思いつき気軽に窓口を利用できるよう、案内の方法に工夫を凝らす等して、相談窓口が身近なものになることを期待する。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
教育支援課	①	様々な相談に対し、状況に応じた対応を行っていることを評価する。しかし、「関係機関同士で情報を共有し、進捗管理していく」との課題は計画当初のままである。課題解決に向けて、何かしらのアクションを起こしていただきたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
A	A	B	B				
課題把握							
A	A	A	B				
協働コミュニケーション課	②③	昨年の報告書で、今年度の課題とされていた「若年女性の相談・支援における既存のLINE相談からの連携」について、結果が不明である。来所相談のみならず、電話やSNSを利用しての相談が加わり、以前よりも対応が複雑になっているのかもしれないが、問題を抱える人が速やかに適切な支援を受けられるよう、関係機関の密な連携構築を進めていただきたい。	総合評価				
			A	A	A	B	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
A	A	A	B				
課題把握							
A	A	A	A				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-5	性と生殖に関する健康支援
施策(1)	からだと性に関する正確な情報の提供
事業	①発達に応じた性教育の実施

施策全体についての評価

各課とも継続して情報提供等を行っているものの、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念が広く社会に根付くような活動を積極的に行っているとは言い難い。アンコンシャスバイアスによる差別を防ぐためにも、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの周知に向けて、さらなる取り組みを進めていただきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	B	B	B	B	

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニティ課	①②	講座の開催や情報誌を通して、引き続き啓発活動に努めたことを評価する。広報や配布の方法を工夫して、さらに講座の参加者や情報誌の読者を増やしていくことを期待する。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			B	B	B	A	
健康課	①②	からだと性に関する正しい知識を継続して提供し、また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点を踏まえて事業に取り組んでいることを評価する。しかし、性教育の実施における各課連携については、一昨年より3年連続で「機会がなく未実施」となっている。各課連携が不可欠であると考えているのであれば、その機会は積極的に設けていただきたい。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			B	A	A	A	
			執行状況				
			B	B	B	B	
教育指導課	①	青少年にとってリプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を学ぶことは、性教育とともに重要なことである。正しい知識を持つことは、性暴力や性被害を防ぐことにもつながる。産婦人科医などの専門家を学外講師として上手に活用し、必要な知識と権利の概念が周知されることをのぞむ。	総合評価				
			B	B	B	B	
			計画内容				
			B	B	B	B	
			執行状況				
			B	B	B	B	
課題把握							
B	B	B	B				

令和4年度委員会評価報告

基本目標 I	人権の尊重
課題 I-5	性と生殖に関する健康支援
施策(2)	性差に応じた健康支援
事業	①女性専門外来に関する情報提供
	②女性・男性特有の病気に対する予防と検査の実施

施策全体についての評価

相談者の必要に応じた情報提供や医療機関の案内、性差に応じた継続的な健康支援の実施を評価する。医療機関や健康に関する情報集約については、集まった情報を周知する等して、市民の健康管理に役立てていただきたい。	全体評価(年度)				
	R1	R2	R3	R4	R5
	A	A	A	A	

課別評価

担当課	事業番号	評価コメント	R1	R2	R3	R4	R5
協働コミュニケーション課	①	継続して事業を実施されたい。女性専門外来に関する情報は、あらゆる世代の女性にとって意義のあるものなので、ぜひ個別対応だけでなく、周知の機会を検討されたい。	総合評価				
			A	A	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			A	A	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				
健康課	①②	継続して事業を実施されたい。受診票送付時の情報提供は効果的と考えるが、検診対象年齢以外の人への周知をどのように図るか、さらに検討されたい。	総合評価				
			B	B	A	A	
			計画内容				
			A	A	A	A	
			執行状況				
			B	B	A	A	
課題把握							
A	A	A	A				